

コミュニケーションツールの開発

Development of Communication Tools in DCW2001,2002

2001～2002

遠隔地間で協同設計を行うためには、効率のよいコミュニケーションをとることが必要となります。デスクトップTV会議システムなど既存のソフトウェアを利用する場合がありますが、それだけでは十分とはいえません。そのため、我々の研究グループでは早くからコミュニケーションのためのツール開発に力を注いできました。現在では、非リアルタイムな環境の整備は整いつつあります。ここでは、Design Collaboration on the Web 2002(DCW2002)プロジェクトからいくつかのコミュニケーションツールを紹介します。



DCW2002

DCW2002は、2002年4月から7月にかけて東京電機大学(TDU)、東和大学(TWA)、京都工芸繊維大学(KIT)の3大学間で実施したプロジェクトです。メインとなるプロジェクトページを設け、チームのコミュニケーションツール(チームページ)や課題説明、スケジュールなどのコンテンツを充実させました。隔週のデザインクリティークと、ファイナルジュリーは、テレビ会議システムを利用して各大学を結び、オンライン講評会が行われました。

Team Page

メンバーは、パスワードを入力しチームページへログインします。チームページには「Message Board」、「Design Room」、「Chat Room」の3つのコミュニケーションツールと、スケジュール管理ツールがあります。「Message Board」と「Design Room」へはパソコンだけでなく携帯端末からもアクセスすることができます。また情報登録の際に他のメンバーの携帯端末へ自動でメールを送信する機能も組み込まれています。全ての登録情報はサーバに記録され、リアルタイムにデザインプロセスを表示することができ、デザインの評価に用いることも可能です。

